

**JICA 横浜 海外移住資料館**

# 館報

**2014 年度**



## はじめに

JICA 横浜 海外移住資料館は 2014 年 10 月に開館 12 年目を迎えました。日頃より、関係の皆様におかれましては、企画展示、公開講座、資料収集、調査研究等に対するご支援、ご尽力をいただきまして、深く感謝を申し上げます。

さて、2014 年度の当館来館者数は 40,274 人であり、開館以来、初めて 4 万人を超えました。教育プログラム参加者数は 6,593 名と 2013 年度の水準を維持、また、当資料館ホームページへの Web アクセス数は 192,236 visits と過去最高を記録しました。

これは、地域と連携したイベント実施のほか、ブラジルワールドカップ開催にちなんだ「ブラジル・サッカーのサムライたち ― 日系スーパープレーヤー列伝」や終戦 69 周年企画「ララってなあに？ 日本を助けたおくりもの ― ララ物資にみる海外日系人との絆」など、時宜に適った展示の開催がさらなる誘客や認知度の向上に寄与したものと考えております。

知識普及の観点では、2 つの学術研究プロジェクト（「ニッポンの伝統、ニッケイの祭り」代表者：桑井輝子 白百合女子大学教授、「移住資料ネットワーク化プロジェクトの充実と拡張」代表者：柳田利夫 慶應義塾大学教授）を実施し、データベースの構築や、公開勉強会等による成果発表を行ったことで、資料館の活動を広く伝えることができました。さらに、日本移民学会との共同開催による公開講座シリーズ「日本人と海外移住」を年 6 回実施し、大学生や学校教員等を含む一般市民の方々に対して、海外移住に関する理解促進や関心の向上を図ることができたと考えております。

また、2014 年度は昨年度から継続し、移民送出県との関係強化に注力いたしました。2014 年 6 月から、当資料館で 2014 年 3～5 月に沖縄県と連携して実施した特別展「雄飛 — 沖縄移民の歴史と世界のウチナーンチュ」の沖縄県内での巡回展を実施し、沖縄県民の皆様には沖縄移民の歴史と現在について理解を深めていただく機会としました。また、2015 年 3 月には和歌山県との協力による「連れもて行こら 紀州から！ — 世界にひろがる和歌山移民 —」を開催し、こちらも和歌山県内での巡回展を予定しています。今後も、広島県や福岡県といった移民送出県からのご要望にお応えしつつ、さらなるネットワーク構築を図っていく所存です。

数多くの移住者の方が旅立った横浜港周辺は、みなとみらい 21 地区の整備が進み、年間 7,600 万人の国内外からの人々が訪れる地となっております。皆様方も、お近くにお越しの際には、ぜひ港に隣接する当資料館にお立ち寄りください。今後とも、国内外の移民関連施設や近隣の博物館との連携を深め、日系社会の拠点としての機能強化を推進して参りますので、引き続き、ご指導、ご助言を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

独立行政法人 国際協力機構  
横浜国際センター 所長  
海外移住資料館 館長  
小幡 俊弘

# 目 次

---

|    |                   |    |
|----|-------------------|----|
| 1. | 展示イベント等.....      | 1  |
| 2. | 情報システム.....       | 10 |
| 3. | 資料等情報整備.....      | 11 |
| 4. | 教育普及活動.....       | 12 |
| 5. | 広報活動.....         | 18 |
| 6. | 運営委員会及び学術委員会..... | 20 |
| 7. | アンケート調査.....      | 22 |
| 8. | 各種実績等.....        | 23 |

# 1. 展示イベント等

## 特別展示1 「ブラジル・サッカーのサムライたち ―日系スーパープレーヤー列伝―

開催期間：6月7日（土）～7月21日（月・祝）

開催期間中入館者数：4,359名

概要：日本にプロサッカーリーグができるより、はるか前に、サッカー王国ブラジルで活躍した日系人選手がいた。彼らは、その後日本に来て、本場仕込みのプレーで人々を驚かせた。ネルソン吉村が、帰化した初めての日本代表となり、ラモス瑠偉や田中マルクス闘莉王らが代表入りする先例となった。セルジオ越後、セイハン比嘉らは、引退後指導者となり、今も青少年にブラジル・サッカーの楽しさを伝えている。ワールドカップ・ブラジル大会を記念し、日系スーパープレーヤーたちの知られざる活躍を紹介した。



展示の様子



## 特別展示2 「ララってなあに？日本を助けたおくりもの ―ララ物資にみる海外日系人との絆―

開催期間：8月2日（火）～10月26日（日）

開催期間中入館者数：10,300名

概要：2014年8月、日本は戦後69年を迎えた。荒廃した国土と、食料をはじめあらゆる「モノ」が不足する中、日本を救おうと立ち上がったのは、強制収容されたアメリカをはじめとする、海外の日系人だった。「ララ」の名で日本に贈られた食料や衣料、医薬品、山羊や乳牛など、救援物資の一部は、おおぜいの海外の日系人から送られたものだった。東日本大震災で再び多くの救援物資を送ってくれた海外日系社会と日本との、現在までに繋がる絆を紹介した。また海外への巡回展を視野に入れ、パネルの翻訳も行った。



展示の様子



**付帯イベント：ララ・ツアー！ ―ララの時代へタイムスリップ―**

実施日時：8月19日（火）～20日（水）13:00～13:30 ガイド付き特別展示の見学、

13:30～14:00 戦後最初の給食体験、14:00～15:00 ララ関係施設散策

参加者数：19日19名、20日27名

概要：特別展示をご案内し、その後、戦後最初の給食を試食していただいた。当時を懐かしむ方をはじめ、様々な感想をいただく事が出来た。ララ関係施設散策では、両日とも炎天下だったが、無事ツアーを終えることができた。



**特別展示3 「マンガ！ Manga！ Mangá！ ―日系人とマンガの世界―**

開催期間：12月13日（土）～2月15日（日）

開催期間中入館者数：6,301名

概要：現在の Manga ブームが起こるずっと以前に始まっていた日系人とマンガの関係は、いろいろな角度から楽しむことができる。日本人移民の歴史についても、日本のマンガや外国の Manga で描かれるようになった。日本のマンガが外国に渡りどのように変化しているか。日系人をととして見たマンガの世界。マンガが広がっていく中で日系人が果たしてきた役割。本展示では、「日系人とマンガ」をキーワードにして、移住先国における Manga を紹介した。また海外への巡回展を視野に入れ、パネルの翻訳も行った。



展示の様子

**付帯イベント①：日系社会シニア・ボランティアが見たアマゾンと日系社会**

アマゾン写真展とマンガでわかる移民の話

実施日時：12月2日（火）～1月11日（日）

会場：JICA 横浜1階ギャラリー

概要：元日系社会シニア・ボランティアである鶴田俊美さんが描いた「マンガで分かる移民

の話」をパネル展示した。また赴任時に撮りためたアマゾンの写真も併せて展示。特別展示マンガ展と関連付けた展示とした。

#### 付帯イベント②：鶴田俊美トークライブ

実施日時：12月23日（火・祝）13:00～14:00、15:00～16:00

会場：JICA 横浜 1 階ギャラリー

概要：「マンガで分かる移民の話」を作成した元日系社会シニア・ボランティアである鶴田俊美さんのトークライブを開催した。当日は「SWAMP WATER」としてユニットで登場。アマゾンでの話や、日系社会シニア・ボランティアとして現地に赴いた話、現在の活動の様子などをお話頂きながらのライブとなった。



#### 付帯イベント③：学芸担当による日系トークあれこれ第3回「日系人とマンガの世界」

実施日時：1月17日（土）14:00～15:00

概要：当該特別展示について、学芸担当より画像を交えて紹介・解説した。

#### 特別展示4 「連れもて行こら 紀州から！

—世界にひろがる和歌山移民—

開催期間：3月8日（日）～5月10日（日）

企画制作：公益財団法人 海外日系人協会

協力・資料提供：和歌山県、和歌山大学紀州経済史文化史研究所、和歌山県立図書館、和歌山市民図書館、公益財団法人和歌山県国際交流協会、和歌山県中南米交流協会、アメリカ村カナダ移民資料館、紀の川市教育委員会、串本古座高等学校、串本町教育委員会、串本町木曜島遺族会、御坊市役所、すさみ町教育委員会、すさみ町歴史民俗資料館、太地町歴史資料室、那賀移民史懇話会、テレビ和歌山ほか

開催期間中入館者数：8,743 名

概要：和歌山県は、全国で6番目に多くの海外移住者を送り出した移民県。ハワイ、アメリカ西海岸、カナダ、オーストラリア、ブラジルなどへ向けて、多くの和歌山県人が海を渡り、移住先で、その国や地域の漁業、農業その他さまざまな分野の発展に尽力した。またどの地域からの移住者も、移住先で稼いだお金を故郷へ送金し、当時の地域経済を支えていた。

和歌山県民はどのような理由で移住し、新天地ではどのような生活をし、故郷や移住先国にどのような貢献を果たしたのか……。和歌山県移住者とその子孫たちの海外における貢献について紹介した。





展示の様子

**付帯イベント：「連れもて行こら 紀州から！—世界にひろがる和歌山移民—」**  
**オープニングセレモニー**

開催日時：3月8日（日）14:00～15:30

参加者数：28名

概要：特別展示初日に、来賓をお招きし、オープニングセレモニーを開催した。

- 式次第：
- ・主催者挨拶 JICA 横浜海外移住資料館館長 小幡 俊弘
  - ・挨拶 和歌山県東京事務所次長 林 清仁様
  - ・特別展示室ご案内
  - ・ミニイベント：和歌祭御舟歌デモンストレーション（唐船御船歌連中）



**巡回展示1 「雄飛-沖縄移民の歴史と世界のウチナーンチュ」**

開催期間：6月17日（火）～6月29日（日）

会場：沖縄県立博物館・美術館 県民ギャラリー3

概要：当館で行った特別展示「雄飛-沖縄移民の歴史と世界のウチナーンチュ」の沖縄巡回展示として、沖縄県立博物館・美術館 県民ギャラリー3にて開催した。現地での設営、解説、撤去作業などを行った。開催期間入館者数：1,501名。また同様に浦添市立図書館でも巡回展示を行い好評を博した。



## イベント1 横浜ベイサイド 名探偵コナン 謎解きラリー

開催日時：4月19日（土）～5月10日（土）

概要：横浜赤レンガ倉庫で開催された、名探偵コナン連載 20 周年記念「コナン展」に絡め、近隣の施設に隠された文字を探し出し、謎を解いていくラリーに参加。「移民の七つ道具」コーナーに文字を隠し、来館者に探して頂いた。また AR マーカーを萬屋に設置し、Android 端末をお持ちの方にクイズを楽しんで頂くしかけも行った。



## イベント2 6月18日は海外移住の日！

開催日時：6月18日（水）～22日（日）

概要：6月18日の「海外移住の日」にちなみ、5日間にわたって以下のイベントを開催した。

●カルタで遊んでタイムスリップ！ 10：00～16：00

日本―ブラジル移民カルタを実施し、参加者には缶バッジをプレゼントした。

●コーヒー試飲会 11：00～16：00

資料館入口にてコーヒーの試飲会を開催。

●カフェパウリスタのパネルを展示。



## イベント3 ミュージアムクイズラリー2014

開催期間：7月19日（土）～8月31日（日）

当館参加者数：366名

概要：当資料館を含む横浜・みなとみらい地区周辺の13の博物館が開催する「ミュージアムクイズラリーよこはま 2014」。毎年夏休み期間中に開催されており、本年度も実施した。

## イベント4 子どもアドベンチャー2014、かながわ子ども・子育て支援月間（カルタで遊んでタイムスリップ）

開催日時：8月19日（火）～20日（水）

概要：カルタで遊んでタイムスリップ！ 10：00～16：00

移民カルタで遊びながら、移住について学び、参加者には缶バッジのプレゼントをした。同日に開催したララ・ツアーへも誘導を行った。



## イベント5 ヨコハマトリエンナーレ2014タイアップ企画

開催日時：8月1日（金）～11月3日（月・祝）

概要：ヨコハマトリエンナーレのタイアップ企画として、トリエンナーレのチケットを持参して来館された方に絵はがきをプレゼントした。

## イベント6 ヨコハマ・ワールド・ウォーク 2014

開催期間：9月14日（日）10:00～16:00

概要：横浜市体育協会が主催するイベントで、例年JICA横浜2階JICAプラザをチェックポ

イントとしていたが、今回より資料館入口にポイントを設置することとなった。当日は1,000名を超える参加者にご来館頂き、足を止めて展示をご覧頂けた。

## イベント7 よこはま国際フェスタ 2014

開催日時：10月18日(土)～19日(日)

概要：当該フェスタに資料館として初めてブースを出展した。ブース内には資料館を紹介するパネルやポスター、特別展示や教育プログラムなどを資料や実物を使って展示した。ブース前では日系農家のコーヒー試飲会を行い、多くの来場者と触れ合う事ができた。また資料館とブースの2か所で行うスタンプラリーも実施。スタンプを集めた方には記念品をお渡しした。



## イベント8 第7回 宝島ハロウィン

開催日時：10月26日(日) 11:00～16:00

参加者数：1,162名

概要：みなとみらい・新港地区で開催された第7回宝島ハロウィンラリーに参加。常設展示室内にラリーポイントを設置し、仮装をして来館した子どもを対象にお菓子を配布した。



## イベント9 「ニッケイの祭りと音楽」公開勉強会

開催期間：3月21日(土) 14:30-16:30

参加者数：40名

会場：会議室1

講師：発表 中原ゆかり(愛媛大学教授)

「ハワイのニッケイの祭りと音楽について」

ウクレレ弾き語りホレホレ節 須藤達也(神田外語大学講師)

コメント1) 島田法子(日本女子大学名誉教授)「ハワイと日本」

コメント2) 早稲田みな子(東京芸術大学講師)「南カリフォルニア」

コメント3) 柳田利夫(慶應義塾大学教授)「ペルー」

司会 飯野正子(津田塾大学前学長・名誉教授)

概要：JICA 横浜海外移住資料館研究プロジェクト「ニッポンの伝統、ニッケイの祭り」と移民研究会の共催で、公開勉強会を開催した。

当日は各先生方の発表およびコメントを頂き、参加者と意見交換を行った。

## 公開講座1 公開講座「日本人と海外移住」

2014年4月から、JICA 横浜と日本移民学会の共同開催で、公開講座シリーズ(全12回)を2ヶ月に1度開催している。公開講座は地域・国別の概説とし、北中南米、ハワイ、南洋群島・東南アジア、満州、朝鮮半島、日本を扱い、それぞれの地域に渡った日本人移民・植民に関する専門家が、一般の方を対象に分かりやすく講義する。今年度は以下のとおり、第1回～第6回までを実施した。



## 第1回「近代日本人の海外移住」

開催日：4月26日（土） 13:00～14:30

講師：木村 健二（下関市立大学・教授）

受講者数：46名

概要：公開講座シリーズ「日本人と海外移住」の総論として、まず「移住」「移民」「植民」という用語について考え、そのうえで、移民の諸要因、国際関係や移民政策、移民会社などに関して統計資料を示しながら解説頂いた。また、山口県を例に、移民の送金、県人会、郷里とのつながりにもふれてもらった。本講義を通して、「近代日本の海外移民とは何であったのか」を共に考える機会となった。



## 第2回「ハワイへの移民」

開催日：6月14日（土） 13:00～14:30

講師：白水 繁彦（駒澤大学・教授）

受講者数：59名

概要：ハワイへ渡った日本人移民とその子孫たちを取りあげた。キャプテン・クックがハワイを「発見」してから、ハワイがどのようなになったのか、そのハワイに、どのような経緯で日本人が移民したのか、そして、どのような生活をしていたのかを解説。さらに、第二次世界大戦を経て現在までのハワイの日系人の歴史をたどった。「太平洋の楽園」の意味するところや、ハワイ最大のエスニック・イベントであるオキナワン・フェスティバルなどについてもふれながら、ハワイ社会の特徴とそこに住む日系人について共に考える機会を設けていただいた。



## 第3回「アメリカ合衆国への移民」

開催日：6月14日（土） 13:00～14:30

講師：坂口 満宏（京都女子大学・教授）

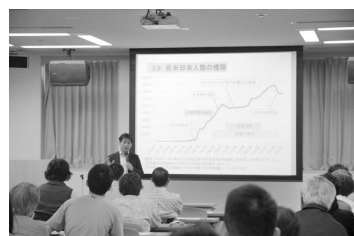
受講者数：53名

概要：本講義では、1 歴史、2 地理、3 日本とのつながりの3点から「アメリカ合衆国への移民」の特質を紹介頂いた。

1の歴史では、1860年代から1940年代にかけての日米関係史を概観しながら、移民の送出し状況の推移を大きく把握。

2の地理においては、日本からの移民はいつ、どこからアメリカに渡り、どこに集住したのかという点に焦点を絞り、岡山県と熊本県を事例に考察していった。

3の日本とのつながりにおいては、1900年前後にアメリカ西海岸各地につくられた県人会が、1920年代半ばになると日本の海外協会の支部として再編されていく過程を取り上げた。そうして再編された在米県人と出身地とのつながりの事例をいくつか紹介頂く講座となった。



## 第4回「カナダへの移民」

開催日：10月25日（土） 13:00～14:30

講師：河原 典史（立命館大学・教授）

受講者数：32名

概要：本講義ではアメリカ合衆国への移民との違いをふまえつつ、移民の送り出しと移住先での生業の特色について考えてみる。そのときに、地図や古写真などをご紹介いただき、できるかぎりわかりやすく説明して頂いた。鉄道工場の悲劇やガーディナー（庭師）の活躍など、これまであまり知られなかった「カナダへの移民」についても解説して頂いた。



## 第5回「ブラジルへの移民」

開催日：12月27日（土） 13:00～14:30

講師：三田 千代子（元上智大学・教授）

受講者数：65名

概要：短期蓄財帰国を目指してブラジルに渡った日本移民は、結果的には祖国の太平洋戦争の敗戦を機にブラジルに永住することを決めた。戦後間もなくブラジル向け移住が再開されており、今日では南北アメリカ大陸の日系人の半数以上をブラジルの日系人が占め、海外最多の日系人を数えるにいたっている。80年代末以降にブームとまでいわれるようになるデカセギ就労者の来日は、こうした日系人がブラジルに存在したからこそである。

本講義ではブラジル移民を事例として、海外移民がホームランドとホスト社会さらにはそれぞれの時代の国際情勢の影響を受けながらホスト社会に定住していく過程を示した。こうした捉え方はエスノスケープの一事例であると同時に、ブラジル移民の特異性も提示することになろうと期待している。



## 第6回「中南米への移民」

開催日：2月28日（土） 13:00～14:30

講師：石川 友紀（琉球大学・名誉教授）

受講者数：45名

概要：本講義ではテーマが大きすぎるので、基礎研究として歴史地理学的研究方法を使用し、明治以降昭和戦前期までの日本の出移民現象に視点を置いた。講座の内容は中南米（ラテンアメリカ）への日本人移民について、世界のなかでの位置づけを分布を通してみた。戦前の中南米への日本人移民数では、ブラジルが大多数を占めていたが、ペルー、メキシコ、アルゼンチンが続き、全部で13か国にも及んでいた事実がある。今回は中米を代表してメキシコ、南米を代表してペルーの日本人移民の事例を提示し、一世を中心とした移民の実態について解説して頂いた。



**公開講座2** 「在バンクーバー総領事が語る 神奈川・横浜とカナダ・バンクーバーとの交流史 ―これまでの100年、これからの100年―」

開催日：6月7日（土） 14:00～16:00

講師：岡田 誠司 氏（在バンクーバー総領事館・総領事）

受講者数：79名

共催：神奈川県立国際言語文化アカデミア

概要：日系の人々が数多く暮らすカナダ・バンクーバーは、神奈川・横浜にとっても深いつながりがある。今回の講座は、海外移住の歴史について理解を深めて頂くために、在バンクーバー総領事の岡田誠司氏に日本、ひいては神奈川・横浜とバンクーバーとのこれまでの関わりと今後の展望等について語って頂いた。



**公開講座3** 「食」を通じて考える多文化共生 南北アメリカにおける日系社会と日本食  
（よこはま国際フォーラム内参加企画）

開催日：2月8日（日） 17:00～18:50

講師：基調講演 柳田利夫（慶応義塾大学教授）

パネルディスカッション

飯野正子（津田塾大学前学長・名誉教授）

桑井輝子（白百合女子大学教授）

小野ナンシー富美子（ブラジル・JICA 日系研修員）

仲間リリアナクラウディア（アルゼンチン・同上）

受講者数：30名

概要：2013年12月4日。「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録された。一方、日本人の海外移住とともに海を渡った日本食。移住者・日系人のものであった日本食が、いつしか移住先国において独自の進化を遂げ、その土地に根付いていった。それは日系社会が移住先国に融合し、新しい文化を創造した証だ。そこで、本講座では、日系社会を通じて伝わった日本食とその変容、日本におけるエスニックフードをとらえて、多文化共生のあり方について考察した。



**その他協力等** 『日系米国人版戦争体験収集事業』 成果報告展

『日系二世が見た戦中・戦後』～母国と歴史の間で～

開催日時：2月21日（土）～27日（金）

主催：沖縄県平和祈念資料館

協力：JICA 横浜 海外移住資料館

会場：2階 JICA プラザ

概要：沖縄戦に従軍した日系米国人の証言やアメリカに忠誠をつくすかどうかで悩み苦しんだ日系人等の戦争体験を収録した沖縄県平和祈念資料館の「日系米国人版戦争体験収集事業」成果報告展『日系二世が見た戦中・戦後～母国と歴史の間で～』を JICA プラザで開催した。当館は「協力」名義で実施に際する各種連絡調整、会場設営、備品貸出、配布物補充等、展示中のサポート業務を行った。

## 2. 情報システム

### 1) 情報展示ネットワークプロジェクト（情報展示）コンテンツ拡充

#### (1) 特別展示サイト、所蔵資料閲覧サイト

2012 年度開催した特別展示「ペルーの日系人」に関しては、2015 年 3 月 27 日に公開した。2013 年度に開催した特別展示「海を渡った日本人町」も公開に向けて準備を進めている。



### 2) 情報検索システム

#### (1) 情報検索システム運用

図書資料室（海外移住）で実施される各種レファレンスサービスと連携し、当資料館の収蔵する資料について情報を整備し、情報検索システムを通じて館内、館外へ検索サービスを提供した。2014 年度末時点登録数：40,198 件（うち図書類：31,977 件、標本類ほか：8,221 件）。  
URL: <http://search.jomm.jp/>

#### (2) 登録データの整備

2014 年度は既に登録されている書誌情報の修正、不足情報の追加等を行った。また、図書の複本処理を行い、データを統合させた。登録情報の照合・確認・修正件数は 400 件。

### 3) 海外移住資料館 web ページ新規コンテンツ

#### (1) 移住資料所蔵関係機関情報

国内及び海外における博物館、図書館、研究機関その他団体等のうち、「日本人の海外移住の歴史」に関する資料を所蔵・公開している機関について、情報提供するコンテンツを製作。移住資料所蔵機関の所在地、所蔵資料の概要、過去の展示実績等の情報を集約し、多くの皆様に提供することを目的としている。引き続き、関係諸機関の皆様より情報提供等のご協力をいただき、順次追加していく予定。

URL: <http://www.jomm.jp/shozokikan/index.html>



#### (2) JICA 横浜 海外移住資料館 研究紀要

当資料館で行われた学術研究の成果を広く社会に発信することを目的として、2006 年より刊行している「研究紀要」について、PDF 版を製作し、当資料館 Web ページにて公開した。3 月末現在、研究紀要 1 から 9 まで公開されている。

URL: <http://www.jomm.jp/kiyo/index.html>



### 3. 資料等情報整備

#### 1) 資料の受入・収集

海外移住に関連する図書、標本等各種資料を寄贈、購入、取得等の方法で収集を行った。資料受入は 259 件。登録総件数は 42,972 件。

|      | 第 1 四半期 | 第 2 四半期 | 第 3 四半期 | 第 4 四半期 | 年度計 |
|------|---------|---------|---------|---------|-----|
| 取得   | 7       | 36      | 44      | 21      | 108 |
| 購入   | 28      | 36      | 0       | 5       | 69  |
| 寄贈   | 11      | 23      | 28      | 20      | 82  |
| 移管   | 0       | 0       | 0       | 0       | 0   |
| 既存資料 | 0       | 0       | 0       | 0       | 0   |
| 寄託   | 0       | 0       | 0       | 0       | 0   |
| 受入合計 | 46      | 95      | 72      | 46      | 259 |

#### 2) 資料の整理

##### (1) 海外移住事業に関する所蔵資料の整備（移住申込書データベース）

移住申込書の物理的整理作業が2011年11月に終了したことを受け、2012年度より移住申込書のデータベース構築作業が開始された。データ入力、確認作業を実施し、データ（文字情報、画像）の不備、修正等があった場合には、その都度実物資料と照合し、適宜修正等を行った。なお、本作業は慶應義塾大学文学部 柳田研究室にご協力いただいている。

##### (2) 海外邦字新聞の整理

当資料館で受入・収蔵している海外邦字新聞の整理作業に関し、今後の方針を柳田利夫学術委員の助言・指導のもと、検討を重ねた。その結果、2013年度より、海外邦字新聞のうち、まず「ペルー新報」を対象として、当資料館の収蔵状況及び国立国会図書館の収蔵状況確認を行い、当資料館では国立国会図書館に収蔵されていない号のみ、収集・保管することとした。

また当館所蔵の「ペルー新報」データベース化をすすめ、欠号以外のものに関しては全てデータ化する作業を行った。データ化した「ペルー新報」は、図書資料室で閲覧可能となっている。

「ペルー新報」をモデルケースとし、他の海外邦字新聞についても収集及び保管を行うこととする。

##### (3) 「歴史資料等保有施設」の指定

当資料館では2013年4月1日に公文書管理法施行令第5条第1項第4号に基づき、歴史資料等保有施設として内閣総理大臣の指定を受けた。

既に多くの所蔵資料を市民の皆様、学生、研究者等に活用いただいているが、このたびの指定を受け、引き続き、資料の整理及び保管並びに利用環境整備を進めていく予定である。

## 4. 教育普及活動

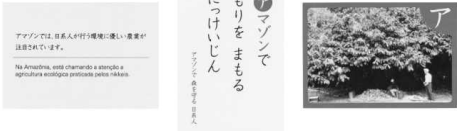
### 1) 教育プログラムの概要

海外移住資料館では、日系移民に関する資料の収集、保存、展示、研究活動のほか、設立趣旨にあるように移住者たちの足跡や役割について多くの人々に伝え、理解を深めてもらう役割を担っている。また、特に若い世代の人々に、多文化共生社会を生きる一員として、あるいは開発教育の視点からも、一人ひとりに移住者からのメッセージを受け止めてもらいたいとの思いから、開館当初より、教育普及活動に積極的に取り組んでいる。

現在、日本においても外国から多くの人々が移り住み、多文化社会が進展してきており「多文化共生」が教育の分野においても大きな課題になっている。そこで、日本人の海外移住の歴史と日系人の生活について展示を行っている当資料館では、そのような課題に応え、教育関係者を対象として、指導者向けの解説書である「学習活動の手引き」作成をはじめとし、教材開発やボランティアによる展示ガイド等、多様な教育プログラムを実施している。

今後、世界の移民人口はますます増加すると予想されている。このような21世紀の世界の中で、グローバルな価値の実現をめざして行動できる地球市民としての資質に加え、多文化社会の中で異なる文化を受容、尊重し、共生へ向けて行動できる市民としての資質という両方の育成が求められている。当資料館の教育プログラムを「共生にむけて」社会参加ができる子どもたちの育成のために活用いただければと考えている。

表：海外移住資料館の学習教材

|                                                                                                                                                                    |                                                                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>【学習活動の手引き】無料配布</b></p> <p>この手引きには、移民について学ぶことの意義が記され、その意義に沿った、海外移住資料館の展示及び各種教材を活用したいくつかの授業構想が含まれている。学校の先生方はもとより、NGO/NPO 関係の方々の授業づくりやワークショップの際の参考として利用できる。</p> |   |
| <p><b>【移民カルタ】貸出可</b></p> <p>日本人の海外移住の歴史、移住者の生活や心情、日本に住む日系人の生活や思いなど、子どもたちに知って欲しい移民に関するさまざまな事柄を、遊びを通して楽しみながら学ぶことができる。</p>                                            |  |
| <p><b>【日本-ブラジル移民カルタ】貸出可</b></p> <p>このカルタは、単に日系ブラジル人の歴史や文化を学ぶだけではなく、日系ブラジル人の継承日本語教育の学習教材としても活用できるよう、日本語とポルトガル語の解説が併記されるなど、様々な工夫が凝らされている。(制作：移民カルタ研究会)</p>           |  |



### 【紙芝居】貸出可

絵や写真、そしてわかりやすい言葉で書かれた物語を通じ、移住者の歴史的経験や心情、日本に暮らす日系人の生活や思いを共感的に理解することができる。全4種類。

- （上段左）海を渡った日本人
- （上段右）カリナのブラジルとニッポン
- （下段左）ハワイに渡った日系移民
- （下段右）弁当からミックスプレートへ



### 【いみんトランク】貸出可

いみんトランクは、国際的な人の移動から多文化共生を学ぶことのできる教材として、また、日本と世界をつなげていく教材として、移民に関する授業や事前学習のサポートを目的に貸し出ししている。移住者の歴史や経験、貢献などにかかわるハンズオン教材として、以下の教材を用意している。

- ・野菜山車（画像・トピックシート有）
- ・ハワイ移民労働着
- ・弁当缶
- ・笠戸丸画像
- ・パールハーバー当日の新聞
- ・太平洋戦争終戦を伝える新聞
- ・さとうきび
- ・ミックスプレート（トピックシート有）
- ・移住斡旋ポスター
- ・ジュート
- ・コショウ
- ・綿花
- ・コーヒー
- ・アマゾンで栽培されている野菜
- ・アマゾンや日系人の貢献に関する情報（資料）
- ・アマゾンを守るエコ農法（朝日新聞記事）
- ・アマゾン移住に関する概要・年表（資料）
- ・サクラ醤油
- ・ハワイ盆踊り手ぬぐい
- ・ロコモコ（トピックシート有）
- ・スパムセット
- ・Tシャツ（日系コミュニティのイベント等で使用されたもの）
- ・ブラジルの和菓子（まんじゅう、あんぱん、詰め合わせ、もち、金澤製菓画像。トピックシート有）
- ・ブラジル南米神宮のお守り（南米神宮画像、トピックシート有）
- ・外国人登録者数推移（資料）
- ・世界地図
- ・ハワイのビッグファミリー（画像）



【ハワイ移民労働着：ハナハナウェア】



【ミックスプレート、弁当缶、さとうきび】



【パールハーバー当日の新聞】

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>これらの教材を実際見て、手に取ることで、日本人移民の歴史と経験について何かを感じ取り、学習効果が高まることを期待している。</p> <p>なお、トピックシートに関してはホームページ上からダウンロード出来るよう対応した。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |  <p>【ブラジルの和菓子】</p> |
| <p><b>【定点解説キット】</b></p> <p>日本からの移住者が運んだトランクを再現したもの、当時の移住先国での暮らしを紹介するものなど、10のキットがある。直接体験を通して展示をより実感して理解することが可能となる。本キットは、常設展示案内時に使用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サトウキビ畑の生活・仕事（麦わら帽子、手ぬぐい地の帽子、軍手、写真パネル等）</li> <li>・ミックスプレート（写真パネル）</li> <li>・スーツケース（写真カード入小箱、トランク等）</li> <li>・移住物語（写真アルバム、複製パスポート）</li> <li>・花と製品あてゲーム</li> <li>・農作業具（写真パネル）</li> <li>・日系商店（萬屋の品揃えアルバム、エプロン等）</li> <li>・日系人の食卓（写真アルバム）</li> <li>・イグアス（空撮写真、アルバム等）</li> <li>・宝さがし（中高生向写真カード、ゾーンマップ）</li> </ul> |                   |
| <p><b>【映像教材】貸出可</b></p> <p>日本人の海外移住の歴史に関する映像教材。以下6種類は貸出も行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①DVD「子供たちの百年 ブラジルに渡った少年少女は、今！」（制作：2008年）</li> <li>②DVD「アマゾンに挑んだ草創の日本人」（制作：2009年）</li> <li>③DVD「JICA 横浜 海外移住資料館」（制作：2009年）</li> <li>④DVD「夢と希望を運んだ船 ～移住船での暮らし～」（制作：2009年）</li> <li>⑤DVD「100年の鼓動 ―ハワイに渡った福島太鼓―」（制作：2011年）</li> <li>⑥DVD「誰も知らない日系アメリカ人の歴史」※（制作：2013年）</li> </ol> <p>※本映像教材は『二つの祖国で・日系陸軍情報部』などで知られるすずきじゅんいち監督より寄贈を受けた。</p>                                                |                                                                                                      |
| <p><b>【パスポート】</b></p> <p>当館概要、海外移住の歴史、ワークシート、来館記念スタンプ用紙などを一つの冊子にまとめ、作成した。学生はもとより一般来館者へも配布し、展示のねらいに即した見学を支援するとともに、見学後、見学した内容を簡単に振り返る事が出来るよう工夫した。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                      |
| <p><b>【パワーポイント教材】</b></p> <p>海外移住の歴史、移住者の貢献、経験、さらに日本における在日外国人の状況にも思いを寄せられる内容となっている。対象は小学生以上。1時間以上の見学時間を予定している学校関係者を中心に、要望に応じて活用している。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                      |

## 2) 教育プログラムの実施

教育機関の団体入館児童・生徒、学生を主な対象として、ガイダンス（概要説明）、パスポートや学習教材を使用したプログラム、質問事項への対応等を実施した。本年度の教育プログラム実施件数は174件、総受講者数は6,593名となった。四半期毎の実施教育機関は以下のとおり。



### 【教育プログラム実績】

|       | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 | 年度計   |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 件数    | 48    | 45    | 43    | 38    | 174   |
| 総受講者数 | 2,959 | 1,032 | 1,595 | 1,007 | 6,593 |

※件数は、実際にプログラムを実施した数。同じ教育機関が複数回受講したケースも有り。

### 【教育プログラム受講教育機関】

#### (1) 第1四半期：

（小学校）筑波大学付属小学校（中学校）歌志内市立歌志内中学校、山形市立第六中学校、三重県四日市市立内部中学校、仙台市立山田中学校、四日市市立西笹川中学校、平塚市立金旭中学校、宮城県大郷町立大郷中学校、横浜市立潮田中学校、横須賀市立浦賀中学校、平塚市立中原中学校、仙台市立向陽台中学校、横浜市立大綱中学校、横須賀市立武山中学校、川越市立川越西中学校、横浜女学院中学校、川崎市立東橋中学校、名古屋市立富士中学校（高等学校）昭和第一学園高等学校、神奈川県立大和西高等学校、神奈川県立三浦臨海高等学校、東京都市大学等々力高等学校、玉川聖学院高等部、横浜市立横浜商業高等学校、神奈川県立足柄高等学校、市原中央高等学校（大学）芝浦工業大学、東海大学、恵泉女学園大学、横浜国立大学、東京都立大学、日本大学国際関係学部（その他）平和教育地球キャンペーン、国際交流基金・青年交流室、警察大学校国際警察センター、木更津市立八幡台公民館、昭和電工ユニオン塩尻支部

#### (2) 第2四半期：

（小学校）藤沢市立亀井野小学校、横浜市立洋光台第三小学校、栃木市立第4小学校（中学校）神奈川学園中学校、横浜市立南高等学校附属中学校、文教大学附属中学校、千葉大学教育学部附属中学校、水海道中学校、（高等学校）神奈川県立大磯高等学校、神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校、神奈川県立横浜国際高等学校、横須賀学院高等学校、清泉女学院高等学校（大学）日本大学国際関係学部、北里大学看護学部、文教大学子ども学習支援サークルHOP、立正大学文学部、松陰大学、東京農業大学、共愛学園前橋国際大学、文京学院大学（特別支援）神奈川県立横浜南養護学校（その他）湘南大庭地区青少年育成協力会、第18回世界社会学会議、福島県国際課、アルモニア学園、横浜市民局、世界社会学会議2014横浜大会、国際交流基金懸け橋プロジェクト日系アメリカ人ユース、ふれあい日本の旅（ブラジル日本語センター）、イングリッシュ・ファースト、横浜市磯子区、日伯経済文化協会、Istituto Educare、横浜市役所市民局、磯子区役所、

#### (3) 第3四半期：

（小学校）横浜市潮田小学校、横浜市立下野谷小学校、横浜市飯島小学校（中学校）横浜隼人中学校、神奈川大学附属中学校、八王子市七国中学校（高等学校）神奈川県厚木高等学校、川崎市立橘高等学校、高知県立高知丸の内高等学校、神奈川県立鶴見総合高等学校、アレセア湘南高等学校、神奈川県立相原高等学校、神奈川県立川崎高等学校

(大学) フェリス女学院大学、共立女子大学、東海大学、目白大学、青山学院大学、恵泉女学園大学、多摩大学グローバルスタディーズ学部(特別支援) 藤沢養護学校鎌倉分教室、神奈川県立相模原中央支援学校高等部(その他) 戦後福祉改革期研究会、神奈川県中国帰国者福祉援護協会、カケハシプロジェクト・日系人青年招へい団、山梨県国際交流協会、綾瀬市適応指導教室、横浜市市民局、国際交流基金日本語国際センター、横浜市経済局、横浜市政策局、横浜市中区役所

#### (4) 第4 四半期：

(小学校) 横浜市不動丸小学校(中学校) 横浜市立仲尾台中学校、世田谷区立船橋希望中学校、大田区立蒲田中学校(高等学校) 横須賀学院高等学校、栄光学園高等学校、KTC中央高等学院、山口県立宇部高等学校(大学) 上智大学国際グローバル学部、東洋大学、獨協大学(特別支援) 神奈川県立横浜南養護学校(その他) 第3回ブラジル・コチア青年3世研修訪日団、神奈川県立横浜南養護学校パートナーズ(PTA) 国際交流部、横浜市金沢区役所、福島県国際課、小見川北地区社会福祉協議会、中央開発(株)海外事業部、国際交流基金日本語国際センター、横浜市栄区PTA連絡協議会、越谷人権擁護推進協議会春日部部会、沖縄県国際交流・人材育成財団、パンクーバー朝日軍、東京人権啓発企業連絡会、広島県庁、次世代日系人指導者会議招へいプログラム、日系スカラーシップ留学生、ライトセンター英会話クラブ

#### 【プログラム例 大学生向け(2時間)】

- ① 日本人の海外移住史概要
- ② 在日ブラジル人・デカセギ・日系ブラジル人に関する概要説明
- ③ 日本人の海外移住の歴史と海外日系コミュニティに関する講義



#### 【プログラム例 高校生向け(2時間)】

- ① 日本人の海外移住について解説
- ② ハワイと日系人に関する概要説明
- ③ 移住の歴史と在日日系人について講義
- ④ パスポートを活用した資料館見学

#### 【プログラム例 中学生向け(1.5時間)】

- ① 日本人の海外移住、横浜と海外移住との関わりについて解説
- ② パスポートを活用した資料館見学



#### 【プログラム例 小学生向け(30分～1時間)】

- ① カルタで宝探し(カルタにある資料を探し解説を受ける)
- ② パスポートを活用した資料館見学

### 3) ボランティア管理運営

#### (1) ボランティア活動の概要

当資料館では、以下の業務をボランティアが実施している。

① 展示案内ボランティア活動（ガイドボランティア）

常設展示室、企画展示室内での展示案内を中心に活動している。2014 年度末時点で、登録者数は 24 名。なお、展示案内ボランティアの配置状況は以下のとおりとなっている。

- ・第 1 四半期：262 人配置（78 開館日、平均 3.4 人配置）
- ・第 2 四半期：265 人配置（79 開館日、平均 3.4 人配置）
- ・第 3 四半期：271 人配置（77 開館日、平均 3.5 人配置）
- ・第 4 四半期：281 人配置（74 開館日、平均 3.8 人配置）

② 資料整理ボランティア活動（サポートボランティア）

当資料館のイベント開催時のスタッフとして、また収蔵資料整理業務において各種作業に携わっている。2014 年度末時点で、登録者数は 9 名。

(2) ボランティア研修会等の実施

当資料館では、ボランティアのスキルアップを目的とした研修を実施している。また、ボランティアの意見を反映し、活動を円滑に進めていくために、以下のとおり連絡会議を実施。今後の活動について意見交換を行った。2014 年度はそれぞれ以下のとおり実施した。

① ボランティア研修会

・「ブラジルの最新事情」

日時：6 月 5 日（木）

担当：北村 孝氏（元 JICA 移住事業部長）

参加者：21 名

・「JICA OB ボランティア研修会①」

日時：8 月 1 日（金）

担当：伊藤 宏氏（展示案内ボランティア）

参加者：17 名

・「JICA OB ボランティア研修会②」

日時：12 月 11 日（木）

担当：鍋木 功氏（展示案内ボランティア）

参加者：21 名

② ボランティア連絡会議

- ・第 1 回 6 月 5 日実施 参加者：21 名
- ・第 2 回 8 月 1 日実施 参加者：17 名
- ・第 3 回 12 月 11 日実施 参加者：21 名
- ・第 4 回 3 月 6 日実施 参加者：19 名

## 5. 広報活動

### 1) 広報紙「海外移住資料館だより」発行

当資料館広報紙として「海外移住資料館だより」を、2014年度は5回発行。特別展示の内容をとりあげ、展示及び収蔵資料を紹介。発行部数7,000部。

主な配布先は、都道府県国際交流課及び国際課、教育委員会や、各国大使館、図書館、博物館、神奈川県立高校、横浜及び川崎市内小中学校、国際教育研究協議会加盟校、外国人集住都市の国際交流協会など、約2,000件。その他、常設展示スペース等で随時配布している。

| No. | 発行           | コンテンツ                                                                                     |
|-----|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 34  | 2014年<br>6月  | 特集 ブラジル・サッカーのサムライたち—日系スーパープレーヤー列伝／同じ境遇の子どもたちの夢を応援したい／海外移住資料館へようこそ！                        |
| 35  | 2014年<br>8月  | 特集 ララってなあに？日本を助けたおくりもの—ララ物資にみる海外日系人との絆／海外移住資料館へようこそ！                                      |
| 36  | 2014年<br>12月 | 特集 マンガ！Manga！Mangá！—日系人とマンガの世界—／日系人の子どもたちもみんなマンガに夢中だった！／海外移住資料館へようこそ！／TOPICS              |
| 37  | 2015年<br>3月  | 特集 連れもて行こら 紀州から！—世界にひろがる和歌山移民—／海外移住資料館へようこそ！／TOPICS                                       |
| 特集号 | 2015年<br>3月  | 特集 移住者、日系人の歴史を後世に伝える—カナダ、アメリカ、ペルー、ボリビア、ブラジルの日系史料館、博物館—／ご存知ですか？海外日系人の歴史がわかる！移住資料デジタルネットワーク |



## 2) 一般広報

JICA 横浜が行う広報事業等と連携しつつ、当資料館の入館者数増を目指し、地域で行われるイベント等への参加、広報媒体への掲載など、以下のとおり実施した。

### (1) 広報媒体の活用

横浜高速鉄道みなとみらい線馬車道駅ホームに電飾看板掲出(1年間)、同みなとみらい駅改札コンコース内インフォボードに広告掲出(9か月間)／市交通局観光周遊バス「あかいくつ」車内モニター広告掲出(1年間)

### (2) 外部媒体への掲載

神奈川新聞／東京新聞／読売新聞／朝日新聞／毎日新聞／産経新聞／テレビ神奈川／沖縄ラジオ／ヨコハマ経済新聞／日本教育新聞／タウンニュース／IPC ワールド／JCOM／横浜ウォーカー／沖縄タイムス／琉球新報／NHK／横浜ベイシティ交通マップ／横浜市暮らしのガイド／ヨコハマケーブルビジョン／横浜市・神奈川新聞 雑誌「横濱」／区老連なかく／全私学新聞／メトロガイド／NHK ラジオ／Bem Vindo!／TVK／横浜 STORY／東京散策乗物ガイド／横浜市中区版広報誌／テレビ東京「Youは何しに日本へ?」／マンガナイト／横浜観光コンベンションビューローサイネージ／サンケイリビング新聞・横浜南版&横浜東版／Mirea／移動教室年鑑／歩く地図 鎌倉・横浜散歩

## 3) 開催広報

JICA 横浜が行う広報事業等と連携しつつ、当資料館常設展示及び企画展示、特別展示、公開講座、その他イベントに関する広報活動を積極的に行うため、広報素材作成と頒布、表示類の作成、プレスリリースの配信等、適宜開催広報を行った(NHK、TVK、共同通信社、時事通信社、神奈川新聞、毎日新聞、読売新聞、朝日新聞、東京新聞、日本経済新聞、産経新聞、県政記者クラブ、横浜市政記者室、ニッケイ新聞、サンパウロ新聞、JCOM、ラジオ日本、フリーペーパー各紙、各種イベント広報 web サイト等)。また近隣博物館、商業施設等へ、広報物の掲出・設置等依頼した。

## 4) 海外移住資料館「友の会」

海外移住資料館「友の会」は、「日本の海外移住の歴史」や「日系人」、「多文化理解・共生」などのテーマに興味・関心のある方々へ関連情報を発信するとともに、当資料館利用者数の増加を図ることを目的に設立された。

活動内容は当資料館で実施する事業やイベントの案内、海外移住の歴史や日系人、多文化理解といったキーワードに関連する情報の発信等となっている。

情報発信のツールとして、メールマガジンを利用し、2014 年度は計 12 回配信した。メールマガジンは月 1 回の配信を基本とし、配信している。

会員登録には、メールマガジンの配信登録を利用し、2014 年度末時点で、友の会会員は DM 会員：218 名、メール会員：649 名となった。

## 6. 運営委員会及び学術委員会

### 1) 運営委員会

海外移住資料館の運営方針、事業計画、学術事項等運営に関する重要事項について専門的な見地から議論・検討することを目的とし、運営委員会を設置している。

### 2) 学術委員会

海外移住資料館における学術研究に係る企画・実施協議・評価・交流を行うことを目的として、2006 年度に海外移住資料館学術委員会を設置した。同委員会は、学識経験者、JICA 横浜所長（海外移住資料館長）により構成される。

#### 【2014 年度 学術委員会開催】

- ・第 1 回学術委員会（6 月 18 日）
- ・第 2 回学術委員会（10 月 2 日）
- ・第 3 回学術委員会（3 月 24 日）

#### 【2014 年度 学術委員】

|     |      |                        |
|-----|------|------------------------|
| 委員長 | 飯野正子 | 津田塾大学名誉教授 前学長・前理事長     |
| 委員  | 石川友紀 | 琉球大学名誉教授               |
|     | 桑井輝子 | 白百合女子大学教授              |
|     | 島田法子 | 日本女子大学名誉教授             |
|     | 中牧弘允 | 吹田市立博物館館長、国立民族学博物館名誉教授 |
|     | 森茂岳雄 | 中央大学教授                 |
|     | 柳田利夫 | 慶応義塾大学教授               |
|     | 山本 匡 | 東京工業大学大学院特別研究員         |
|     | 小幡俊弘 | JICA 横浜所長（海外移住資料館長）    |
|     | 玉林洋介 | JICA 横浜次長              |

### 3) 学術研究プロジェクト

学術委員会において企画・検討された以下の 2 プロジェクトが、2012 年度より 3 年間実施されることとなり、本年度は 3 年目の実施となる。学術研究プロジェクトの研究概要は以下のとおり。

#### (1) ニッポンの伝統、ニッケイの祭りー日本文化の伝承と変容と女性の役割を基軸に

**概要：**本プロジェクトは常設展示の充実、とくに現在の日系コミュニティに関わる展示の充実を念頭におきつつ、祝祭行事に注目して、日本の伝統の継承と変容を現地調査し、その歴史的、社会的、文化的意味を考察した。

【プロジェクトリーダー：桑井輝子（白百合女子大学教授）】

#### (2) 移住資料ネットワーク化プロジェクトの充実と拡張

**概要：**海外移住資料館では、日本国内及び世界各国の日本人の海外移住をテーマにした博物館・資料館等と連携し、それらのハブ機能としての役割を持つべく「移住資料ネットワーク化プロジェクト」をすすめてきた。本プロジェクトはその作業を更に充実、拡張する



ための基礎的な情報を収集し、解決すべき諸問題（情報公開と個人情報保護、日系社会の世代交代、デジタル技術の発展と情報環境の変化など）について、専門家を招いて研究会を開催し、学術的な研究を深めるとともに、その結果と成果とを、最終的には資料館の業務へと繋げてゆくことを目的とする。

【プロジェクトリーダー：柳田利夫（慶應義塾大学教授）】

#### 4) 研究紀要の発行

当資料館で行われた学術研究の成果として、研究紀要第9号を発行した（2015年3月発行）。論文題目等は以下のとおり。

##### 『研究紀要 第9号』

##### 【論文】

ハワイ盆踊りにみられる伝統文化の継承  
—岩国音頭のケースを中心に—  
日本女子大学教授 島田 法子

##### 【研究ノート】

サンパウロ市における日本料理(店)の位置・イメージ・受容のかたち  
サンパウロ大学教授 森 幸一

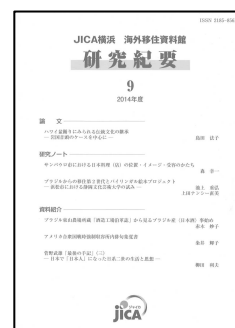
ブラジルからの移住第2世代とバイリンガル絵本プロジェクト  
—浜松市における静岡文化芸術大学の試み—  
静岡文化芸術大学教授 池上 重弘  
静岡文化芸術大学准研究員 上田ナンシー直美

##### 【資料紹介】

ブラジル東山農場所蔵「酒造工場沿革誌」から見るブラジル産〈日本酒〉事始め  
目白大学教授 赤木 妙子

アメリカ合衆国戦時強制収容所内俳句集覚書  
白百合女子大学教授 条井 輝子

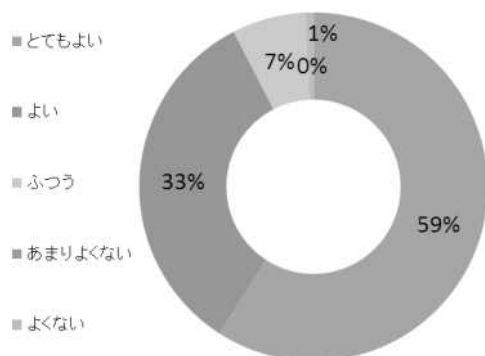
菅野武雄「最後の手記」(三)  
—日本で「日本人」になった日系二世の生活と思想—  
慶應義塾大学教授 柳田 利夫



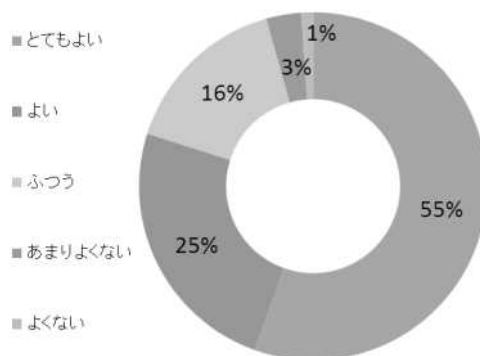
## 7. アンケート調査

当資料館の常設展示入館者を対象に利用者アンケートを実施。設問は「展示内容について」「展示ガイドによる展示解説について」「受付での対応について」「海外移住資料館だよりの記事内容について」等を設定した。回答総数は 281 件。5 段階で評価いただいたが、すべての設問において、「とても良い」「良い」をあわせた回答が全体の 8 割以上を占め、おおむね良好な回答を得た。

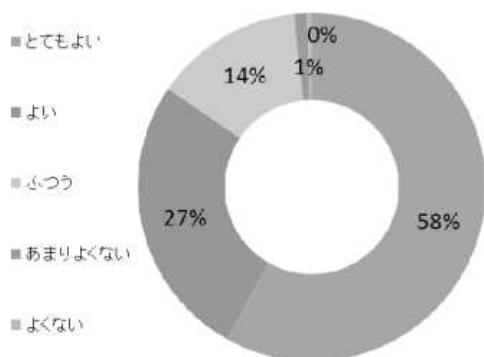
展示の内容



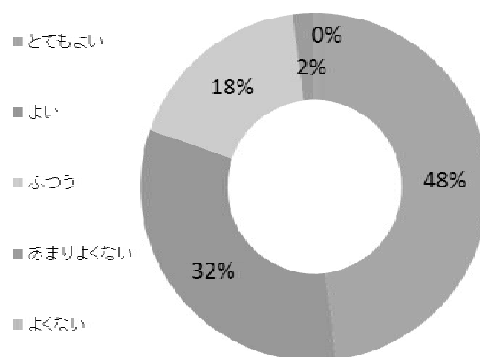
展示ガイドによる展示解説



受付の対応



海外移住資料館だより



## 8. 各種実績等

### 1) 海外移住資料館関連グッズ販売の実績

当資料館では、所蔵資料を活用し、絵葉書（17 種）、ストラップ、移住船模型（4 種）、国旗缶バッジ（15 種）の制作・販売を行っている。販売実績については以下のとおり。

単位：枚、個

|                  | 2010 年度 | 2011 年度 | 2012 年度 | 2013 年度 | 2014 年度 |
|------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 絵葉書（17 種）＊       | 261     | 261     | 342     | 701     | 665     |
| ストラップ（オリジナル・十二支） | 484     | 484     | 457     | 154     | 195     |
| 移住船模型            | 24      | 24      | 4       | 6       | 9       |
| 国旗缶バッジ           | 339     | 339     | 589     | 723     | 713     |

＊2012 年 6 月までは 10 種での販売

### 2) 地方自治体が行う多文化共生社会の実現に向けた取組への協力

今年度自治体より「人権研修」をはじめとする職員研修の依頼は 11 件に上った。これら研修においては、当資料館常設展示室見学を軸に、移住者/日系人の歴史背景や、在日「日系」南米人の現況などを説明。JICA 横浜国際センター及び海外移住資料館の存在意義・利用価値について、自治体からの評価が定着してきているものとみられる。

### 3) 展示案内英語版の製作

当資料館では希望者に常設展示場の解説書「展示案内」を無償配布してきた。今年度はこの展示案内英語版を制作し 3 月に納品された。今後希望者に配布していく事としている。

### 4) 日系研修員の受入

今年度、JICA 日系研修員「資料デジタル化技術」コース（受入団体：海外日系人協会）が 11 月 7 日～12 月 11 日まで当資料館で研修を行った。当館でのデータベースシステム運用に関する講義や他館での視察を行い、最終的にはデジタルミュージアムを構築した。

### 5) その他

4 月 23 日に衆議院外務委員会一行が、7 月 31 日には横浜市議会常任委員会の一団が当館を視察に来館された。今後も、外部からの視察等については、海外移住資料館の啓発・発信の機会と捉え、積極的に対応したい。

### 3) 各種実績

2014 年度業務実績一覧

2014. 4~2015. 3

| 定員厚生スペース | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 年度計     |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 入館者数     | 3,724 | 6,955 | 2,942 | 2,570 | 2,537 | 3,240 | 4,038 | 2,938 | 2,327 | 2,764 | 2,625 | 2,410 | 40,274  |
| (前年同月比)  | 142%  | 113%  | 84%   | 91%   | 96%   | 118%  | 110%  | 89%   | 117%  | 122%  | 127%  | 87%   | 167%    |
| 一般       | 3204  | 4754  | 2197  | 2271  | 3404  | 3025  | 3358  | 2337  | 2367  | 2450  | 2262  | 2296  | 33,876  |
| 学校関係     | 520   | 2191  | 745   | 299   | 133   | 215   | 679   | 602   | 220   | 314   | 363   | 114   | 8,398   |
| 15歳未満    | 455   | 1951  | 803   | 234   | 949   | 304   | 747   | 578   | 184   | 474   | 247   | 219   | 8,538   |
| 15歳以上    | 3249  | 5004  | 2189  | 2336  | 2985  | 2936  | 3291  | 2361  | 2143  | 2286  | 2381  | 2191  | 31,736  |
| 借入       | 3073  | 4711  | 2125  | 1961  | 3338  | 2968  | 3117  | 2051  | 2109  | 2178  | 2112  | 1867  | 31,731  |
| 団体       | 651   | 2244  | 817   | 609   | 198   | 272   | 921   | 898   | 419   | 585   | 518   | 423   | 8,543   |
| ※開館からの累計 |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 339,886 |

| 教育プログラム実施 | 4月  | 5月    | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 年度計   |
|-----------|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 実施件数      | 10  | 24    | 14  | 23  | 10  | 12  | 12  | 18  | 13  | 18  | 9   | 18  | 174   |
| 実施対象人数    | 403 | 1,880 | 881 | 884 | 147 | 501 | 486 | 671 | 238 | 437 | 367 | 203 | 6,592 |

| 国会対応      | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年度計 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 対応件数      | 34 | 30 | 27 | 20 | 53 | 28 | 50  | 34  | 23  | 20 | 22 | 21 | 402 |
| JICA      | 1  | 2  | 3  | 3  | 1  | 1  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 11  |
| 教育機関      | 4  | 2  | 1  | 4  | 2  | 1  | 3   | 2   | 3   | 1  | 1  | 4  | 22  |
| 国内団体      | 1  | 3  | 3  | 6  | 2  | 2  | 2   | 4   | 0   | 0  | 3  | 0  | 20  |
| 個人        | 18 | 19 | 15 | 24 | 24 | 28 | 38  | 18  | 18  | 25 | 26 | 22 | 275 |
| 自治体       | 0  | 0  | 1  | 1  | 0  | 0  | 0   | 0   | 1   | 0  | 0  | 2  | 5   |
| 制作会社・マスコミ | 10 | 9  | 4  | 3  | 4  | 4  | 7   | 10  | 3   | 4  | 3  | 3  | 63  |
| 国外団体      | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |

| 図書資料室(海外移住) | 4月   | 5月   | 6月  | 7月   | 8月  | 9月   | 10月  | 11月 | 12月 | 1月   | 2月   | 3月   | 年度計   |
|-------------|------|------|-----|------|-----|------|------|-----|-----|------|------|------|-------|
| 入室者数        | 283  | 464  | 208 | 227  | 205 | 185  | 213  | 173 | 207 | 212  | 190  | 201  | 2,708 |
| (前年同月比)     | 121% | 127% | 92% | 115% | 71% | 115% | 107% | 99% | 91% | 106% | 112% | 105% | 108%  |
| 一般          | 55   | 81   | 41  | 54   | 88  | 71   | 76   | 43  | 49  | 60   | 53   | 53   | 759   |
| マスコミ等       | 11   | 20   | 12  | 10   | 7   | 9    | 15   | 18  | 22  | 14   | 12   | 10   | 161   |
| JICA関係(業務)  | 121  | 104  | 111 | 100  | 110 | 100  | 88   | 92  | 83  | 104  | 80   | 89   | 1,241 |
| JICA関係(研修)  | 96   | 189  | 44  | 25   | 0   | 5    | 24   | 14  | 43  | 34   | 24   | 39   | 547   |

| 資料受入件数   | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 年度計 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| 資料受入件数   | 30     | 5      | 11     | 25     | 60     | 10     | 3      | 9      | 60     | 25     | 9      | 12     | 258 |
| (うち取得)   | 6      | 0      | 1      | 4      | 29     | 3      | 0      | 3      | 39     | 12     | 2      | 7      | 108 |
| (うち購入)   | 22     | 1      | 8      | 10     | 26     | 6      | 0      | 6      | 0      | 4      | 1      | 5      | 89  |
| (うち寄贈)   | 2      | 4      | 5      | 11     | 5      | 7      | 2      | 4      | 21     | 9      | 6      | 5      | 82  |
| (うち移管)   | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0   |
| (うち蔵庫資料) | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0   |
| (うち寄託)   | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0   |
| 所蔵資料総件数  | 40,932 | 40,937 | 40,948 | 40,973 | 41,033 | 41,043 | 41,046 | 41,055 | 41,115 | 41,140 | 41,148 | 41,181 |     |

| ホームページアクセス   | 4月      | 5月      | 6月      | 7月      | 8月      | 9月      | 10月     | 11月     | 12月     | 1月      | 2月      | 3月      | 年度計       |
|--------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| Visita(訪問者数) | 13,641  | 15,057  | 17,266  | 16,349  | 16,543  | 13,053  | 16,410  | 15,812  | 16,172  | 18,212  | 15,775  | 15,819  | 192,239   |
| (前年同月比)      | 114%    | 120%    | 122%    | 114%    | 114%    | 97%     | 115%    | 116%    | 114%    | 136%    | 121%    | 112%    | 117%      |
| Pages(利用数)   | 37,102  | 39,888  | 42,159  | 40,865  | 42,559  | 41,929  | 41,812  | 35,389  | 40,983  | 49,628  | 41,376  | 42,954  | 515,944   |
| Files(情報提供数) | 196,928 | 172,019 | 196,432 | 187,256 | 175,074 | 161,717 | 179,802 | 172,538 | 184,581 | 220,102 | 186,844 | 182,604 | 2,177,698 |

| 情報検索アクセス数    | 4月    | 5月    | 6月   | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 年度計    |
|--------------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| Visita(訪問者数) | 640   | 600   | 513  | 1,116 | 1,201 | 1,205 | 1,322 | 1,238 | 1,344 | 1,062 | 1,132 | 1,080 | 12,513 |
| (前年同月比)      | 124%  | 118%  | 105% | 180%  | 243%  | 188%  | 286%  | 212%  | 164%  | 112%  | 133%  | 167%  | 129%   |
| 検索件数         | 1,316 | 1,425 | 981  | 511   | 928   | 943   | 940   | 573   | 1,082 | 1,209 | 549   | 733   | 11,190 |
| (前年同月比)      | 174%  | 125%  | 204% | 62%   | 185%  | 195%  | 109%  | 102%  | 138%  | 141%  | 73%   | 109%  | 129%   |

**JICA 横浜 海外移住資料館 館報**  
**2014 年度**

---

**発 行：独立行政法人国際協力機構横浜国際センター  
海外移住資料館**

**発行年月：2015 年 7 月**

**問い合わせ先**

**JICA 横浜 海外移住資料館**

**〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港 2-3-1**

**Tel 045-663-3257 / Fax 045-211-1781**

**Web : <http://www.jomm.jp> E-mail : [info@jomm.jp](mailto:info@jomm.jp)**

